



2026年4月10日

各 位

会社名 株式会社ツインバード  
代表者名 代表取締役社長 野水 重明  
(コード番号 6897 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役企画管理本部本部長 渡邊 桂三  
(TEL 0256-92-6111)

## 特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し 及び業績予想の修正、並びに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は、2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）において、特別損失を計上し、繰延税金資産の取り崩しを行うことといたしました。最近の業績動向及びこれらを受けて、2025年4月14日に公表いたしました2026年2月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、役員報酬を減額することといたしましたので併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

家電製品カテゴリーのうち、収益性が急激に悪化し採算の目途が立たない家庭用冷蔵庫・洗濯機事業の縮小を含む事業構造改革及び今後の収益構造の更なる改善のため、遊休となる固定資産の減損損失 222 百万円を計上することといたしました。

#### 2. 繰延税金資産の取り崩しについて

現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）において、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額（損）61百万円を計上することといたしました。

#### 3. 業績予想の修正について

(1) 2026年2月期 通期業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,500	150	120	100	9.39
今回発表予想 (B)	8,998	△855	△896	△1,218	△114.28
増減額 (B-A)	△1,502	△1,005	△1,016	△1,318	
増減率 ( % )	△14.3	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2025年2月期)	10,056	4	42	△101	△9.55

## (2) 修正の理由

国内家電市場におきましては、消費者の節約志向の高まりに加え、異業種からの参入も含めた量販店におけるSPA（製造小売）化の進展、さらには米国の中国に対する関税政策の影響による中国大手家電メーカーの攻勢等もあり、特に家庭用冷蔵庫及び洗濯機の市場競争が一層激化したことにより売上が急激に減少いたしました。特に最大需要期である第4四半期における売上の大幅減少に伴う利益減及び在庫の保管料が増加したことなどにより営業利益が当初想定を大きく下回りました。この厳しい市場環境が続くとの認識に基づき、収益性が急激に悪化し採算の目途が立たない家庭用冷蔵庫・洗濯機事業の縮小を決定いたしました。このため収益性の高い商品や販売チャネルへの転換を推進する事業構造改革及び今後の収益改善に向けた一時的な損失として、売上原価に製品の廃棄費用60百万円、棚卸資産の評価損356百万円を計上することといたしました。これらの結果、営業利益は当初予想の150百万円から営業損失855百万円となりました。加えて特別損失に前述の減損損失222百万円を計上いたしました。また、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額（損）61百万円を計上いたしました。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 4. 役員報酬の減額について

2026年2月期の業績の結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下の通り、取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）の報酬の減額を行うことといたしました。

### (1) 報酬減額の内容

代表取締役社長	月額報酬の50%を減額
その他の取締役	月額報酬の30%～5%を減額

### (2) 対象期間

2026年3月～2026年5月までの3か月間

以上